

よっ葉だより

2023年
9月18日号
No.760

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
茨城県 862



書き損じハガキ等で、飢餓に苦しむ人々を支援
ハンガー・フリー・ワールドの活動にご協力をお願いします

10月は、「世界食料デー」

お手元にある物品が自立支援の活動に充てられます。

この度よっ葉生協では、特定NPO法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)が行う飢餓に苦しむ人々を支援する国際活動にご協力します。皆さんのお手元に、書き損じハガキ等の換金できるものはありませんか？HFWでは、23年前から回収キャンペーンを行い、HFWのボランティアの皆さんの手で仕分けて換金し、飢餓に苦しむ人々の支援の活動費に充てています。

集めているもの

書き損じハガキ・未使用ハガキ・未使用切手・使用済み切手・商品券・ブルーチップ・グリーンスタンプ・未使用テレカ・プリペイドカード・外国紙幣・ダイヤ・金・銀・プラチナ製品

- ☆ 協力いただく物品類は、よっ葉生協から配布する専用の「郵便用封筒」に入れて郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ☆ 「郵便用封筒」は、来週9月25日(月)～配布します。
- ☆ 封筒に入りきれないものは、市販の封筒や段ボール箱などに入れ、ゆうパック(着払い可)でお送りください。

- ☆ 協力いただく物品は、よっ葉生協の配送では受け付けません。
- ☆ 11月末までに投函・発送してください。

よっ葉生協



誰もが安心して食べられる世界へ
ハンガー・フリー・ワールド(HFW)は、飢餓に直面する人々の「食べる」を取り巻く環境を変えていき、「生きる力」を育むことで、世界の「明日」へとつなげていく国際協力NGOです。

バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダで地域の食を守り、豊かにしていくグループや協同組合を育てます。自立して支援から卒業することを目指します。

国内では、世界の飢餓の原因を作らないために、日本の食糧問題の解決にもつながるフードロス削減や国産国産などモロ乎びかけています。

生協は、「平和とより良い生活のために」

先月15日の「終戦の日」に合わせて、よつ葉だよりではNo.755、No.756の2号にわたって地元の方の戦争体験を掲載しました。戦時下の生活の様子、壮絶な被災の様子がありありと伝わってくるお話に、組合員の方からも多くの反響をいただきました。

「いのちと健康・暮らしを守る」よつ葉生協の理念の実現は、平和な世の中が大前提です。戦後間もない1951年の、日本生活協同組合連合会創設宣言「平和とより良い生活のために」には、平和が何よりも基盤だと身に染みた人々の思いが込められていると感じます。

戦争の経験に耳を傾け、その悲惨さと集団で人間性や理性を無くしていく実態を胸に刻みましょう。広島子どもたちに倣い、よつ葉に集う皆さんと共に「誰もが平和だと思える未来」を作っていく決意をしたいと思います。(理事 堀)

「平和への誓い」全文

みなさんにとって「平和」とは何ですか。争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

身近なところにも、たくさんさんの平和があります。

昭和二十年(一九四五年)八月六日午前八時十五分。

耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。

皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。

子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。

たった一発の爆弾により、一瞬にして広島の町は破壊され、

悲しみで埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか」

仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生

きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから七十八年がたちました。

今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとう」

命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

友達のよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするとときです。

被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝え

ていきます。

身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動し

ていきます。

誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつく

っていきます。

令和五年(二〇二三年)八月六日

子ども代表

広島市立牛田小学校六年 勝岡英玲奈

広島市立五日市東小学校六年 米廣朋留

(東京新聞 2023年8月7日22面)

* 築昌子さまのお話、拝読しました。時々、小金井駅を利用します。平和の礎がありましたね。これからは、更に平和を願い、手を合わせよう、と強く思いました。

私も池袋に住んでいて大空襲にあい、疎開をしました。憲法9条を守り、平和でありたいと願う一人です。

(下野地区 K.Tさん)

* 戦争体験のお話にとっても感銘を受けました。貴重なお話をありがとうございました。(さくら地区 T.Oさん)

* 赤岩正路さんの投稿を子どもたちの前で読みました。小学1年生の壮絶な経験をここまで詳細に書き記して下さり、読み聞かせながら胸が詰まりそうでした。子どもからも「凄い記憶は消えないんだ、ずっと覚えているんだね」と悲しそうに話してくれました。掲載を感謝します。ありがとうございました。

(下野地区 M.Yさん)

* (赤岩さんの投稿) これから大人になっていく娘(15才)にも読ませたい、大変貴重な文章だと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。(伊勢崎地区 N.Sさん)

* よつ葉だよりを欠かさずチェックしています。8月7日号の赤岩正路さんの「昭和20年の思い出」、しっかり拝読いたしました。よくぞここまでつぶさにと、そして淡々と語られており、赤岩さんの子供の頃がスーッと頭の中に浮かび上がるようでした。「宮城遥拝」というものも、恥ずかしながら初めて知りました…。

14日号の築昌子さまのお話も貴重でした。

二度と戦争が起こらないよう、その時代を生きの方々の記憶は何度も何度もお聞かせ願いたいと思います。

有難うございました。

(那須地区 T.Hさん)

* 赤岩正路さんの「昭和20年の思い出」を読みました。私の両親も子どものころ戦争を体験していますが、すでに亡くなっており、もう話を聞くことが出来ません。平和の大切さを考えるとき、戦争の悲惨な様子を知る事が大切だと思います。礼や挨拶等、決められたことをしなければならなかった日々、赤紙によって戦地へ強制的に送られてしまう非情、どこにでも米軍が来て、撃たれてしまう日常、ひどい毎日を過ごさなくてはならなかったことに、いまさらながら憤りを感じました。二度と同じことを繰り返してはならないと思います。赤岩さん、寄稿して下さり、心から感謝申し上げます(宇都宮地区 Y.Kさん)

『こどものころの戦争の記憶』感想 よつ葉文庫 NO.1303

小2の娘が読んで、小5で廊下を軍隊調に歩かねばならなくなったところがいやだったと感想を言っていました。少しひょうしぬけな気もしましたが、他は何がこわいのかを想像しにくいのかと気づきました。

体験を後世に伝えることには大賛成だし、私もこの本は良い本だと思います。しかし、伝えたい内容を伝えたいように伝えることの難しさも気づかせてくれました。私は戦記ものマニアでいろいろ読みあさっています。しかし興味のない人に伝えるのは本当にむずかしいですね。

(伊勢崎 岡安幸子さん)



産直委員会発

猛暑による被害を確認。どんぐりくらぶ 高橋さんへ訪問

異常な暑さで農産物への影響が続いています。欠品が長く続いているどんぐりくらぶの原木椎茸の生育状況を伺いに、9月4日（月）、商品部農産担当職員の加藤さんが訪問してきました。以下、報告です。



7月以降、40度以上の暑さが続いたことでホダ木自体が弱ってしまっていることが原因で出荷が出来ません。ハウスの中は今年の暑さで40度以上にもなり、なかなか気温が下がらず、遮光や散水などでの冷却対策もしているが厳しい状況が続いていました。ホダ木の中にできている原基（きのこの元）が不活性化をおこしている為、椎茸自体が発生しない状況です。

今までも夏の暑さで収量が落ちたりしましたが、今年の異常な暑さは栽培への影響が出てしまっています。椎茸菌は温度が20度前後で芽の数が増え、32度くらいの温度で成長していくそうですが、この夏は最低気温も25度以上が続いたため、菌からすると人

と同様で熱中症をおこしているのと同じ症状とのことでした。

菌の品種は10種類あり、暑さにも強い品種もあります。高橋さんも来年もまた同様な異常気象になるかもしれないので、対応できる様な対策を取りたいとおっしゃっています。

また、去年はラクティアという菌が増えてしまい、4万本のホダ木が被害に遭い死滅しました。被害は全体の10%くらいになってしまいましたが、今年は0.5%まで抑えられたそうです。

今後ですが、気温が落ち着けば9月3週目あたりから、少し収穫できそうだとおっしゃっていました。

（商品部 加藤）

参加してみませんか

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～ 上三川農業体験②「稲刈りをしよう！」

6月に田植えした羽二重もち（品種名）の稲を、鎌を使って刈り取り、「はざがけ」にします。収穫の後は脱穀体験をして、皆でお昼を食べましょう。

日時：10月21日（土）10：00～13：30（受付9：30～）

会場：有機農業技術支援センター

（栃木県河内郡上三川町下神主233-1）

参加費：組合員 大人（小学生以上）200円 小学生以下は無料
一般 大人（小学生以上）300円 小学生以下は無料



定員：20組程度

（駐車場の都合上、場合によっては抽選にさせていただきます。）

託児：なし 締切日：10月6日（金）

主催：よつ葉生協

申込・問合せ：よつ葉生協 組合員組織部
TEL 0120-07-1613

◇報告「静かなる汚染 ネオニコチノイド」DVD鑑賞会と座談会 6月28日（水）伊勢崎市民プラザ

よつ葉生協商品部、農産担当職員の菊池さんをお招きしてDVD鑑賞会と座談会を開催いたしました。

DVD鑑賞でネオニコチノイド系農薬の恐ろしさについて学んだあとの座談会では、菊池さんによつ葉生協としての、ネオニコチノイド系農薬などへの取り組みについてお話いただき、参加者からの質問にも答えていただきました。

よつ葉生協のとしての運動の取り組みの結果、有機栽培、無農薬栽培、ネオニコチノイド不使用の作物がカタログ「くらら」に多くみられています。ありがたいことです。「安心・安全」に添ってのよつ葉の考え方、組合員を大切にされた考え方、非常に感謝です。取り返しのつかない人類の幸せを、今日は強く考えさせられました。物事を知らぬことは幸せ？

それとも不幸せ…？地下水汚染、残留農薬汚染等… 今日のお勉強は本当に有意義でした。早急にこのお勉強したことをお仲間にも広げなければと「ネオニコ問題は私達も声を大にして世論に訴えなければならぬ」と痛切に感じました。「ネオニコフリーの世界を目指そう!!」

（伊勢崎委員会 梶山佳代）

（伊勢崎委員会 梶山佳代）

★よつ葉生協が扱う農産物は、お米は100%、野菜は95%、果物は67%がネオニコ不使用です。（2022年度の延べご案内回数割合）
カタログ「くらら」では、わかりやすくマークを付けています。
今後もさらなる削減に取り組みます。



文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお願いいたします。

宇都宮

- イベント **第24回 星の家まつり**
- 日時 10月22日(日) 10:30~14:00
- 会場 ろまんちっく村(ローズハット)
(栃木県宇都宮市新里町丙254)
- 参加費 無料
- 内容 「星の家まつり」を開催することで、青少年の自立を支える会の活動を広く皆様に知っていただき、虐待のない社会を目指す。
バザーの収益は、活動費に充てる。
- 主催 青少年の自立を支える会 自立援助ホーム「星の家」
- 申込・問合せ TEL 028-666-6023
FAX 028-666-6024

当日お手伝いして下さるボランティアも募集しています。

- HP <http://www.jiritsu.ogr>
- バザー物品募集中!!
<参考>日用品(洗剤・石鹸類・台所用品など)、食料品(食用油や調味料など) 食器類、タオル類(シーツ・タオル・布団カパーなど)、雑貨(バック類やインテリア小物など)、書籍、CD、DVD(ゲームソフトなど子ども向け大歓迎!)など
<売れないもの>中古・旧式の電気ガス製品、家具類(廃棄に費用がかかります)、使用感のある古着類、中古の食器類、賞味期限が10月末以前の食料品(バザーが10月です)
- 締切 10月9日(月)

桐生

- イベント **ワイルドフォトグラファー 野村哲也氏講演会「地球の息吹」**
- 日時 11月3日(金・祝) 13:30~15:00
(開場 13:00)
- 会場 桐生市市民文化会館 4F 会議室
(群馬県桐生市織姫町2-5)
- 参加費 大人3000円 中・高校生1500円
小学生以下500円
- 問合せ GREENDOOR 野口秀樹 TEL 090-3337-9527
メール greendoor3621@gmail.com
- HP <http://www.sandenforest.com>

撮影するために訪れた土地で遭遇した出来事、出会った魅力的で興味深い人々との話などを楽しくしていただきます。毎回野村哲也氏の写真と語り、年齢関係なく感動と爆笑の渦が巻き起こり大好評です。
今回はコロナが明け海外を訪れた話など盛りだくさんです。
<プロフィール>
1974年、岐阜県生まれ、横浜市在住。ワイルドライフ・フォトグラファー。「地球の息吹」をテーマに、北極、南極、アフリカ、南アメリカなどに被写体を追い求める。
Home page <http://www.glacierblue.ogr/home.shtml>



首都圏から日光、その先の会津へ
野岩鉄道が結ぶ鉄道の旅。
~沿線の魅力発掘~

や がん
野岩鉄道株式会社

栃木県日光市藤原326-3
電話0288-77-2385
FAX0288-76-0819
E-mail:yagan@amils.ocn.ne.jp
受付時間/土日・祝日を除く9:00~17:00

よつ葉生協は、栃木県生協連と栃木県との包括連携協定に基づき、県の広報に協力しています。

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告(9月1週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	2,600
茨城誰かのために募金 (862番)	400
合計	3,000

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(9月1週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	4,900
震災孤児を支援する募金 (910番)	24,100
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	8,600
合計	37,600

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

共通申込書

希望する行事名に してください
口上三川農業体験②

組合員番号	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号☎	
参加人数 (大人) 組合員	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有 ()

託児: 6カ月以上のお子様から 人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー 無・有 ()

備考欄

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223
☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp

